

# 守ります、利根川!

令和元年河川管理レポート



国土交通省 関東地方整備局

利根川上流河川事務所



# すべては、街のため、 人のために。



## 利根川の安心・安全を 全力で支えています。

令和元年も水害などから暮らしを守るため、  
様々な取り組みを行いました。10月に襲来した

「令和元年東日本台風(台風第19号)」は、戦後最大級のカスリーン台風に  
匹敵する降雨量を上流域で記録した出水となりました。

利根川上流河川事務所管内では、これまでの治水対策及び日々の  
維持管理により堤防が決壊するような甚大な被害は生じませんでした。

私たちは、自治体や建設業をはじめとする民間企業と協力し、  
また沿川住民の皆さんの力もお借りして、しっかりと誰もが  
川とともに快適に過ごせるよう、河川の維持管理をしていきます。

## 利根川ってどんな川？

曲がりくねって流れる利根川をまっすぐに伸ばすと、

その長さはなんと全国第2位の322km。流域面積は16,840km<sup>2</sup>で全国第1位です。

利根川は、流域の広範囲に雨が降ると、流量の大きな洪水になりやすい河川です。

### 利根川データ

水源地：大水上山(標高1,831m) 群馬県利根郡みなかみ町

流域面積：16,840km<sup>2</sup>(全国第1位)

流域内人口：約1,309万人(調査基準年：平成22年)

※利根川上流河川事務所は、このうち約130kmを管理しています。

総延長：322km(全国第2位)\*

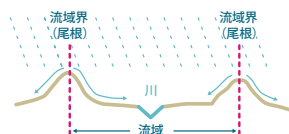
流域市町村：152区市町村(平成31年3月現在)

河川数：822

尾根を結んだ線は、  
「流れて集まる水」の  
分かれ目です(流域界)

### 流域って何？

流域とは、山や平地など  
地面に降り注いだ雨が  
川に集まる範囲のことです。





# 1 異状がないか調べます — 河川の状態把握 —

わずかな異状にも素早く対応できるよう、雨量や水位の観測、毎日のパトロール、堤防や機械設備の点検などを行って、利根川の安全を守っています。

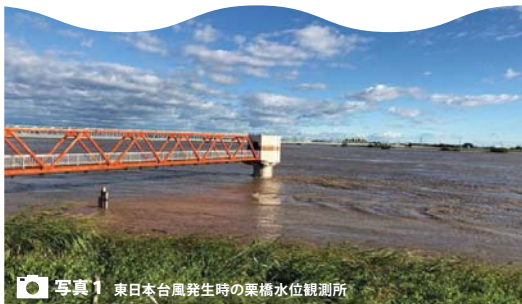


写真1 東日本台風発生時の栗橋水位観測所



写真5 パトロール



写真2 東日本台風の状況把握



写真6 堤防除草



写真3 機械施設の点検



写真7 堤防点検



写真4 警報機器のチェック

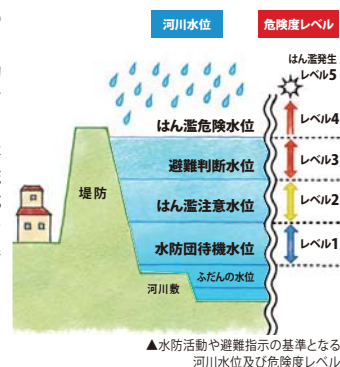


写真8 許可工作物の検査

## 雨量や水位などを観測

写真1

流域の雨量や河川の水位などの観測データは、出水時の防水活動や避難指示、地域の方への情報提供などに活用します。東日本台風では、利根川上流河川事務所管内の一部で、計画高水位に達する大規模な洪水が発生しました。



## どんな水位計があるの？

河川の水位を把握するため、利根川上流河川事務所管内には、常時観測している水位計と洪水時の水位情報をきめ細かくキャッチする危機管理型水位計があります。危機管理型水位計は、本川と支川の合流部や氾濫により行政施設・病院等の重要施設が浸水する可能性が高い箇所を中心に設置場所を選定しています。



▲危機管理型水位計



## 東日本台風の状況把握

写真2

東日本台風の豪雨により、川俣水位観測所付近では、計画高水位に達しました。利根川上流河川事務所管内の各所で水位の上昇が見られ、現地踏査やCCTV画像等による出水や被災等の状況把握を行いました。



▲JR東北本線利根川橋梁付近

## 機械設備や電気設備等の点検

写真3・4

水門や警報機器などの機械や電気を伴う河川管理施設では、出水時に確実な動作ができるように毎月点検をしています。点検で確認された異状に対しては、修理や部品交換を行います。



▲水門の点検

## 河川維持管理の基本、パトロール

写真5

早期に堤防や河川管理施設等の異状を発見するためのパトロールは、河川維持管理の基本です。日々パトロールを行い、令和元年は6,768件の報告がありました。

### パトロールからの報告は合計6,768件

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 堤防・河川管理施設等の異状など | 3,610件 |
| ゴミ投棄などの不法行為     | 1,880件 |
| 危険行為や不法低留など     | 613件   |
| 水質状況や自然環境の変化など  | 665件   |



## 堤防を除草して、異状を見逃さない

写真6

堤防点検の前には、堤防等の異状を発見しやすいように堤防除草を行いました。除草した刈草の一部は、堆肥や家畜の肥料などに無償配布して、コスト削減を図りました。



## 堤防点検で、異状を早期発見

写真7

堤防や河川管理施設の異状を発見し、毎年5月と9月頃(年2回)に全ての堤防を徒歩で点検をしています。令和元年に確認した堤防の異状126件は、更なる被害にならないために分析・評価して対策を行いました。

### 特に多く発見された異状

|           |     |
|-----------|-----|
| モグラや小動物の穴 | 34件 |
| 亀裂        | 30件 |
| 保食・植生異常   | 18件 |
| 樹木の侵入     | 14件 |
| 陥没や不陸     | 12件 |



※1：平らではなく凹凸があること

## 点検したデータはどうやって記録しているの？

全国の河川で実施している堤防点検・パトロール等はデータベースシステムで管理しています。発見した異状の写真やデータをタブレット端末に登録して、異状箇所の位置や経年変化を記録して、更なる被害にならないように対策を行います。



## 許可工作物の管理状況を検査

写真8

利根川の河川敷には、多くの公園やゴルフ場があります。防球ネットや簡易トイレ、ベンチ等が出水時に片づけられるか、適切に管理されているかなどを確認するために、施設の管理者に対して検査を行いました。



▲簡易トイレの撤去作業

Webサイトもご覧ください

水位・雨量  
リアルタイム情報

国土交通省  
川の防災情報

無償提供情報  
堤防刈草・伐採木配布・  
公募伐採





## 2 発見した異状を直しますー維持管理対策ー

パトロールや堤防点検で発見した異状は、降雨や洪水によってさらに大きな被害にならないように適切に補修しました。



### 小動物の穴

写真1

モグラやキツネなどが堤防に巣穴を掘ったり、イノシシが植物を食い荒らす被害が出ています。特にモグラやキツネの巣穴は雨や洪水で堤防が破壊される原因になるため、発見した穴はすぐに埋め戻すとともに、監視を強化し、活動範囲や時期などを調査して、対策を行いました。



### 堤防にはこんな異状もあるよ？

堤防に咲く菜の花(セイヨウアブラナ)は、外来種のアブラナ科で太い根が特徴です。大根のような太い根が枯れて腐るとミミズやモグラ、キツネによる食物連鎖で堤防を傷つけます。見た目は春らしいのですが、大きな穴に水が浸透して、放置すれば増水時に堤防が決壊する危険が高まります。



▲セイヨウアブラナ



▲セイヨウアブラナの根

### 亀裂

写真2

天端にできる亀裂は、雨水が浸透して堤防が崩れてしまったり、歩行や自転車の走行等を妨げてしまう場合がありますため、注入材などで隙間を埋めて補修しました。

### 東日本台風による被災補修

写真3・4

台風の影響でさまざまな災害が発生しました。豪雨により堤防に雨水が浸透して、湿潤状態になり、崩れた表層部分を補修しました。なお、補修箇所は芝が育つまで養生するため、立入禁止となります。

### 危険箇所の修繕

川に訪れる人が安全に利用できるように急勾配の堤防への昇降の安全対策として、手すりを設置など危険箇所の修繕を行いました。



▲危険箇所の修復

## 3 快適な環境を保ちますー環境対策・地域連携ー

人や動植物にとって過ごしやすい自然豊かな環境を守るために、地域と人々と協力しながら様々な取り組みを行いました。



### 渡良瀬遊水地クリーン作戦

写真1

平成31年4月13日に開催された「渡良瀬遊水地クリーン作戦」では、ボランティア4,994名が参加し、約13.7tのゴミが回収されました。自然あふれる利根川河川敷は、レジャーやスポーツなど憩いの場として活用されている反面、ゴミを捨てられることも多く、きれいで快適な利根川を守るには、皆様のご協力が必要です。



▲不法投棄されたゴミ

### 渡良瀬遊水地のヨシ焼き

写真2

平成31年3月16日に実施された渡良瀬遊水地のヨシ焼きは、広大なヨシ原の8割(約1,200ha)を燃やしています。近年は、県外各地から約9,200人が訪れ、観光や写真撮影を目的に来越しになる方が多くなっています。「ヨシ焼き」は、病害虫の駆除や枯れたヨシを焼くことによって、新たなヨシ等が芽生え豊かな湿地環境が守られています。

### どんな植物が生えているの？

ヨシ焼き後の黒いスからは、絶滅危惧1B類の「トネハナヤスリ」の芽が見られます。全国で利根川・渡良瀬遊水地・淀川の3箇所まで自生するめずらしい種ですが、利根川で最初に発見されたことから名前の前に「トネ」がつけられました。



▲トネハナヤスリ

### 河川の私物化を防ぐ

写真3

パトロールは、陸上だけでなく船上からも確認しています。無許可で船を停めている場合は、行為者に警告し、撤去するよう促しています。従わない場合は、法制度に従って強制的な撤去を行うこともあります。



▲不法係留された船舶

### 伐採木無償提供

河川敷に繁茂する樹木は、洪水時には水の流れを阻害するほか、河川の状況を把握するためのパトロールやカメラによる監視等の支障となることから、伐採を行いました。伐採した樹木は処分費のコスト削減を図るため無償配布をしています。



▲伐採木無償提供

### 災害機械操作講習会

写真4

令和元年6月20日に開催された「災害対策用機械の操作講習会」では、洪水や地震に備えるため、自治体や民間企業の約190人が参加し、排水ポンプ車や照明車などの操作方法を学んでいます。出水時に迅速な対応ができるように「国」「自治体」「民間企業」が力を合わせて災害に備えています。なお、東日本台風による洪水時に浸水地域の排水作業のため、実際にポンプ車等が稼働しました。



▲東日本台風発生時の排水状況



# 洪水被害防止に貢献

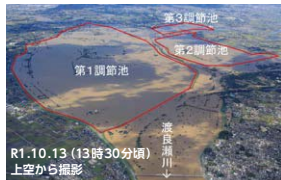
利根川上流河川事務所は、渡良瀬遊水地、菅生調節池、稲戸井調節池、田中調節池の4つの調節池を管理しています。東日本台風による洪水では、4つの調節池で過去最大となる合計約2.5億 $\text{m}^3$ (東京ドーム約200杯)の洪水を貯留し、首都圏の洪水被害防止に貢献しました。(数値等は速報値)

東京ドーム  
約200杯

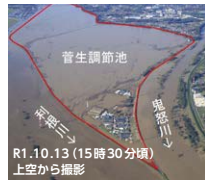


## 調節池って何？

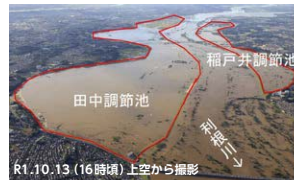
調節池は、大雨などで河川が増水した時に、流出した水を一時的に貯めて、下流に流れる水の量を減らすことで、水害を軽減する役割をもっています。調節池は、洪水から私たちを守る大切な役割を果たしています。



▲渡良瀬遊水地



▲菅生調節池



▲田中調節池・稲戸井調節池

## TEC-FORCE (テックフォース) って何？

TEC-FORCE は、Technical Emergency Control FORCE の略で緊急災害対策派遣部隊です。高度な技術支援として、被害状況の調査や壊れた箇所への復旧について助言や指揮を行いながら、浸水被害箇所の排水作業を支援する等の活動を行う国土交通省のチームです。隊員は、全国に12,654(R1.11月時点) 出動します。東日本台風では、利根川支川の災害復旧のため、九州地方整備局から排水ポンプ車の派遣を受け出動したり、また、荒川支川の被災箇所の復旧活動のため、利根川上流河川事務所から職員を11名派遣しました。



▲九州地方整備局の排水ポンプ車



▲排水ポンプ車で素早く排水します

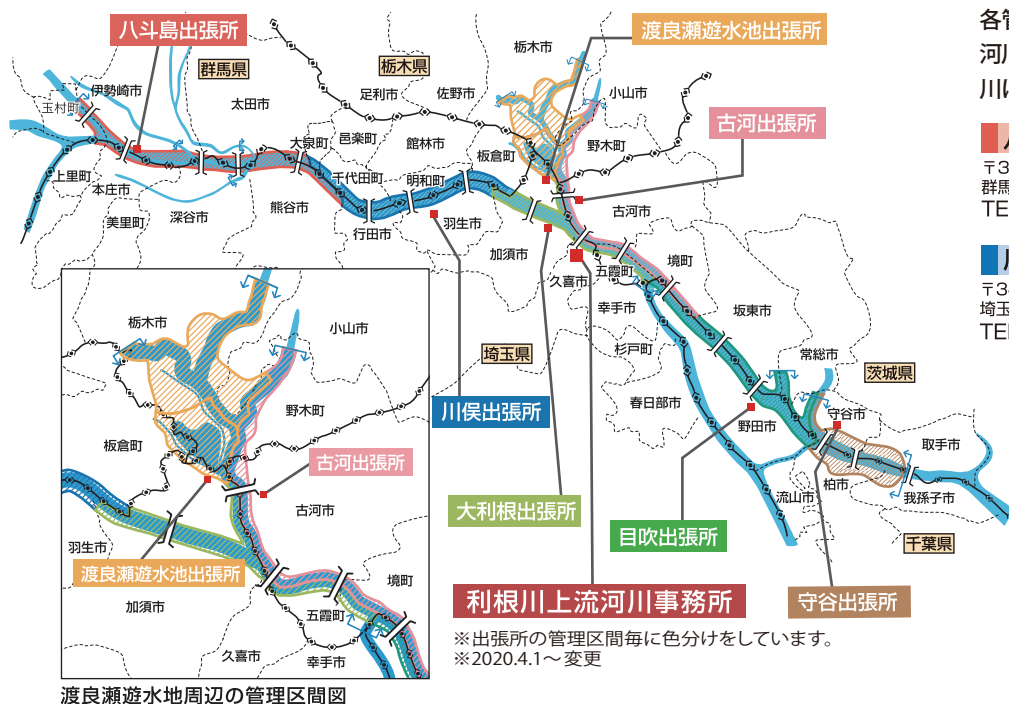


▲被災地支援のための派遣



▲被災現場の復旧状況の監督

## 出張所のご案内



各管理区間における河川の管理、河川工事の監督、河川巡視、河川利用に関する許可申請窓口、川に関する相談などの窓口

### 八斗島出張所

〒372-0827  
群馬県伊勢崎市八斗島乙913  
TEL.0270-32-0168

### 目吹出張所

〒278-0001  
千葉県野田市目吹1482  
TEL.04-7122-3014

### 川俣出張所

〒348-0051  
埼玉県羽生市本川俣840  
TEL.048-563-1992

### 守谷出張所

〒302-0116  
茨城県守谷市大柏355-7  
TEL.0297-48-2441

### 古河出張所

〒306-0036  
茨城県古河市桜町4-8  
TEL.0280-22-0487

### 渡良瀬遊水池出張所

〒349-1203  
埼玉県加須市柏戸345  
TEL.0280-62-2420

### 大利根出張所

〒349-1153  
埼玉県加須市新川通700-6  
TEL.0480-72-8360

もっと知りたい方はこちらをご覧ください

利根川上流河川事務所  
ツイッター

イベント情報などを発信  
しています。



利根川上流河川事務所  
携帯電話サイト

利根川上流管内の防災や  
災害に関する情報を提供



利根川上流河川事務所  
ホームページ

